

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢 掛	2	0	0	0	0	2	3	0	0	7
福岡大濠	0	3	0	0	2	0	0	0	0	5

矢 花岡、森上 — 小池

文責：国定 和佳（普通科総合コース3年）

矢掛高校の先発は、2年生右腕の花岡（木之子中）

- 1回表、矢掛高校の攻撃。先頭の佐藤武蔵（木之子中）が左前打を放ち出塁。続く佐藤孝太（木之子中）が中越え三塁打を放ち、幸先よく1点を先制する。続く小川（真備中）が四球で繋ぎ、続く真砂（木之子中）の犠牲フライにより1点を追加する。矢掛高校は初回到2点を先制する最高の立ち上がり。
- 1回裏、福岡大濠高校の攻撃。先頭打者を失策で出塁させるが、捕手：小池が盗塁を刺し、無失点とする。
- 2回裏、福岡大濠高校の攻撃。先頭から連続死球を与えてしまい、ピンチを背負う。さらに内野安打で、無死満塁とされ、スクイズと内野ゴロで2点を奪われ、同点とされる。ここは踏ん張りたところであったが、適時左前打で1点を勝ち越され、この回一挙に3失点で逆転を許す。
- 3回表、矢掛高校の攻撃。一死から佐藤孝太が左前打を放ち、盗塁も決めるが、後続が凡退し、同点ならず。
- 3回裏 福岡大濠高校の攻撃。先頭打者に中前打を放たれるが、花岡の落ち着いたピッチングでこの回を抑える。
- 4回裏、福岡大濠高校の攻撃。二死から四球を与えてしまうも、次打者を三振で抑える。
- 5回裏、福岡大濠高校の攻撃。先頭打者を失策で出塁させ、右越二塁打で1点追加される。さらに、犠打を決められ、二死三塁とされると、暴投で1点を献上する。この回2失点で3点差となる。
- 6回表、矢掛高校の攻撃。先頭の佐藤孝太が四球で出塁。続く小川が中前打を放ち、代走；赤木（小北中）を送る。続く真砂の内野安打で、無死満塁のチャンスを作る。ここで三澤（真備東中）が右越二塁打を放ち、2点を奪い、1点差に詰め寄る。
- 6回裏、福岡大濠高校の攻撃。ここで矢掛高校投手の変更。マウンドには森上が上がる。二死から四球を与えてしまうも、次打者を抑える。
- 7回表、矢掛高校の攻撃。一死から小池（総社西中）が四球により出塁し、大山（小北中）のバントヒット、佐藤孝太の四球で、一死満塁と一打逆転のチャンスを迎える。ここで赤木の内野ゴロ間に同点に迫につき、四番：真砂の値千金の中前打で2点を勝ち越す。
- 7回裏、福岡大濠高校の攻撃。先頭打者に死球を与えてしまうも、2奪三振の力投で後続を抑える。
- 8回表、矢掛高校の攻撃。福岡大濠高校投手の交代。代わった投手を攻め、一死から中村（矢掛中）の死球と代打：上山（木之子中）の右前打でチャンスを作るが、連続投ゴロに抑えられ、追加点ならず。
- 9回表、矢掛高校の攻撃。先頭の木尾（美星中）が失策により出塁。さらに盗塁と捕逸で三塁まで進むが、無得点に終わり、最終回の守備へ。
- 9回裏、福岡大濠高校の攻撃。一死から四球を与えてしまうも最後は4－6－3の併殺で、試合終了。

矢掛高校は7－5と福岡大濠高校に勝利した。今回の試合では、激しい点の取り合いとなった。守備面では、失策が多く、点を取られてしまったものの、うまく切り替えができていた。打撃面では、安打が多く、いつもよりチャンスを活かしたバッティングができていたように思う。だが、なかなかバントが決まっていなかったのも、これからの課題として頑張ってもらいたい。このような攻守とも不安定な状態では、夏の大会を勝ち上がることはできない。原点に立ち返って、できることを確実に増やしていって欲しい。

今シーズンの勝敗

2 5 勝 7 敗 4 分